



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

# シンガポールの政策 港湾政策編

---

2020年8月

一般財団法人自治体国際化協会 シンガポール事務所

# 目次

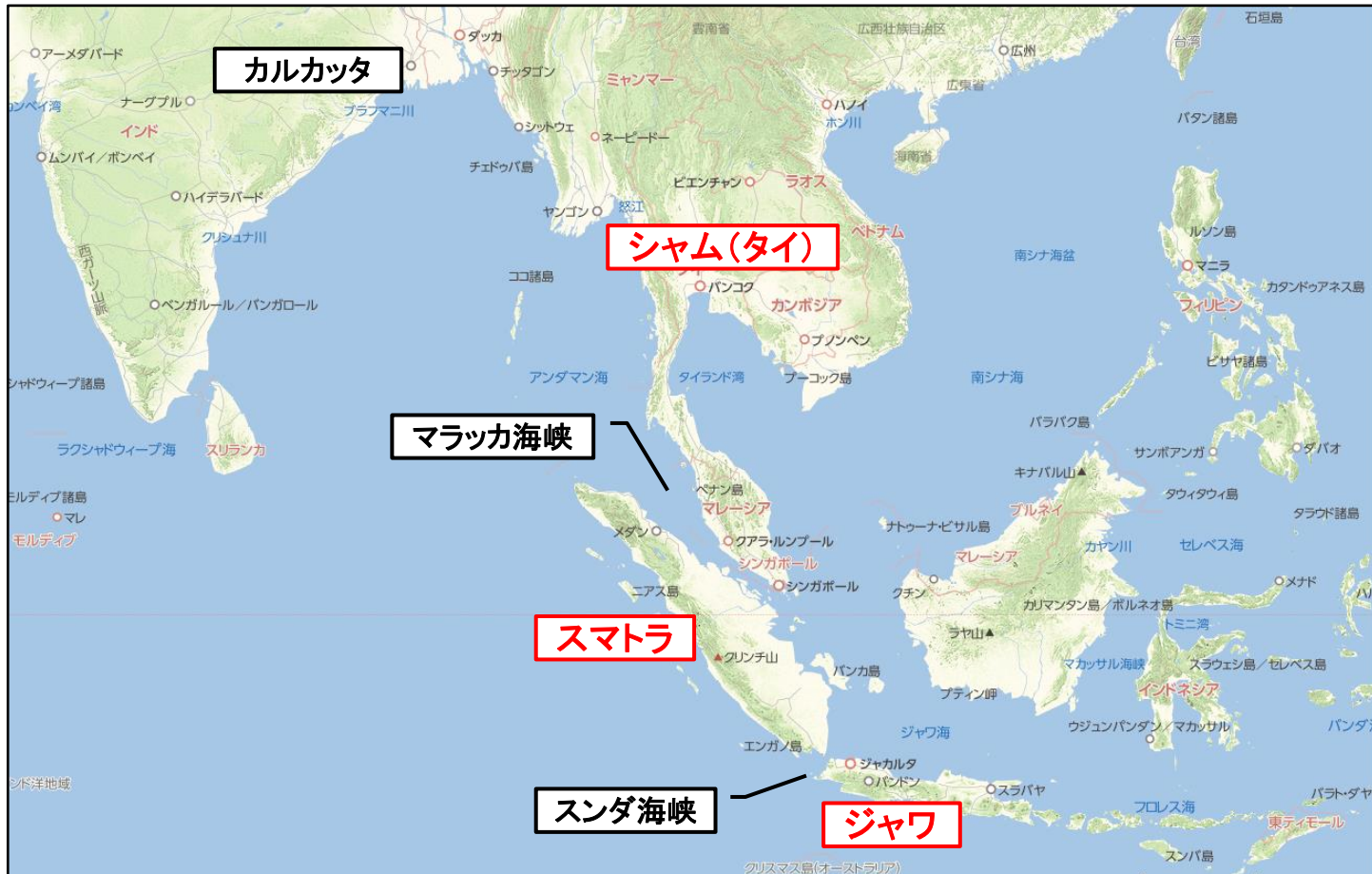
---

1. 港湾都市としての成り立ち
2. 貨物取扱量の推移
3. シンガポール港の概要
4. 4つの主要ターミナル
5. 港湾管理組織の沿革
6. 港湾設備とサービス
7. 今後の展望(政策概要)

# 1. 港湾都市としての成り立ち

## ■ 地理的優位性

- ・ アジアとヨーロッパを結ぶ航路上にある
- ・ 元来台風などの自然災害のリスクが低く、植民地時代にオランダ・ポルトガルの影響下になかった



# 1. 港湾都市としての成り立ち

## ■ 中継貿易の仕組み

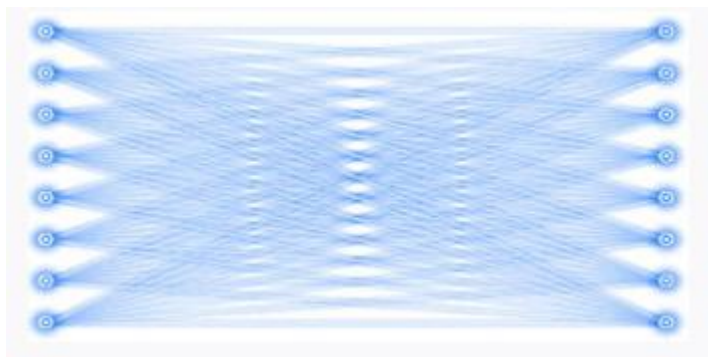
積み荷港から輸送された荷物を、途中の港（ハブポート）で別の船に積み替え、最終の積み下ろし港に輸送するもの。トランシップとも呼ばれる。

大型船の運航上、いったん荷物を集約した方が良い場合などで行われる。

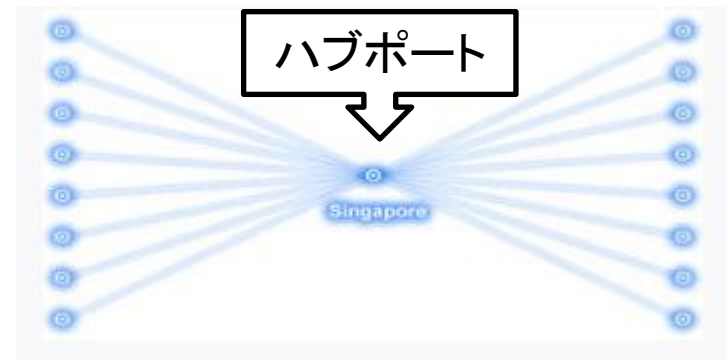
なお、シンガポールに到着したコンテナの約85%が、中継貿易のものである。

### ○ 8つの地域から、8つの地域へ輸送する場合

- ・ 各地から直接輸送する場合



- ・ 中継貿易を利用する場合



# 1. 港湾都市としての成り立ち

年月日	出来事
1819年1月28日	英国東インド会社のスタンフォード・ラッフルズ卿の上陸
1830年代～	マレー半島で産出されるガンビア、スパイス、原油、天然ゴム、錫等の積出港として発展
1963年9月16日	マレーシア連邦の一州として英国から完全独立
1964年4月1日	シンガポール港湾庁（PSA）が設立
1965年8月9日	マレーシアから分離独立、シンガポール共和国が成立
1972年	東南アジア初となるコンテナターミナルが完成
1990年	コンテナの取扱量が初めて世界一となる
1990年代	世界最大の貿易港としての地位を確立

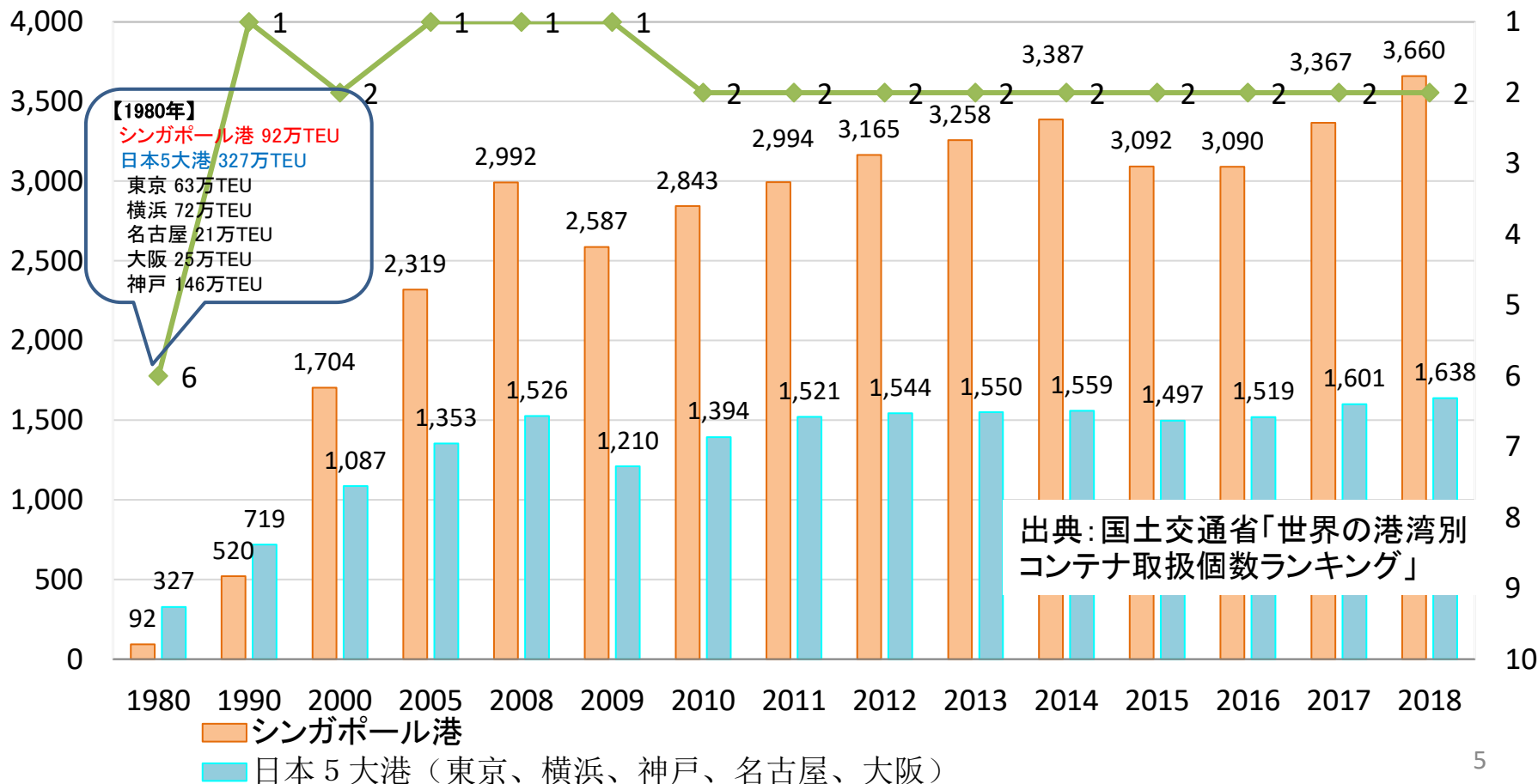


# 2. 貨物取扱量の推移

## シンガポール港と日本主要5大港の貨物取扱量の比較

**【2018年】**  
 シンガポール港 3,660万TEU  
 日本5大港 1,638万TEU  
 東京 511万TEU  
 横浜 304万TEU  
 名古屋 288万TEU  
 大阪 241万TEU  
 神戸 294万TEU

単位：万TEU（貨物量単位）  
 ※1TEU = 20フィートコンテナ



## 2. 貨物取扱量の推移

### ■ 貨物取扱量の世界上位10港

単位：万TEU（貨物量単位）  
 ※1TEU = 20フィートコンテナ

順位	1980年		1990年		2000年		2005年		2010年		2018年	
	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量
1	NY/NJ	195	シンガポール	520	香港	1,810	シンガポール	2,319	上海	2,907	上海	4,201
2	ロッテルダム	190	香港	510	シンガポール	1,704	香港	2,260	シンガポール	2,843	シンガポール	3,660
3	香港	147	ロッテルダム	368	釜山	754	上海	1,808	香港	2,370	寧波	2,635
4	神戸	145	高雄	350	高雄	743	深圳	1,620	深圳	2,251	深圳	2,574
5	高雄	98	神戸	260	ロッテルダム	628	釜山	1,184	釜山	1,419	釜山	2,166
6	シンガポール	92	釜山	236	上海	561	高雄	947	寧波	1,314	広州	2,162
7	サンファン	85	ロサンゼルス	212	ロサンゼルス	488	ロッテルダム	925	広州	1,255	香港	1,960
8	ロングビーチ	83	ハンブルク	197	ロングビーチ	460	ハンブルク	809	青島	1,201	青島	1,932
9	ハンブルク	78	NY/NJ	190	ハンブルク	425	ドバイ	762	ドバイ	1,160	ロサンゼルス /ロングビーチ	1,755
10	オークランド	78	基隆	181	アントワープ	408	ロサンゼルス	749	ロッテルダム	1,115	天津	1,601

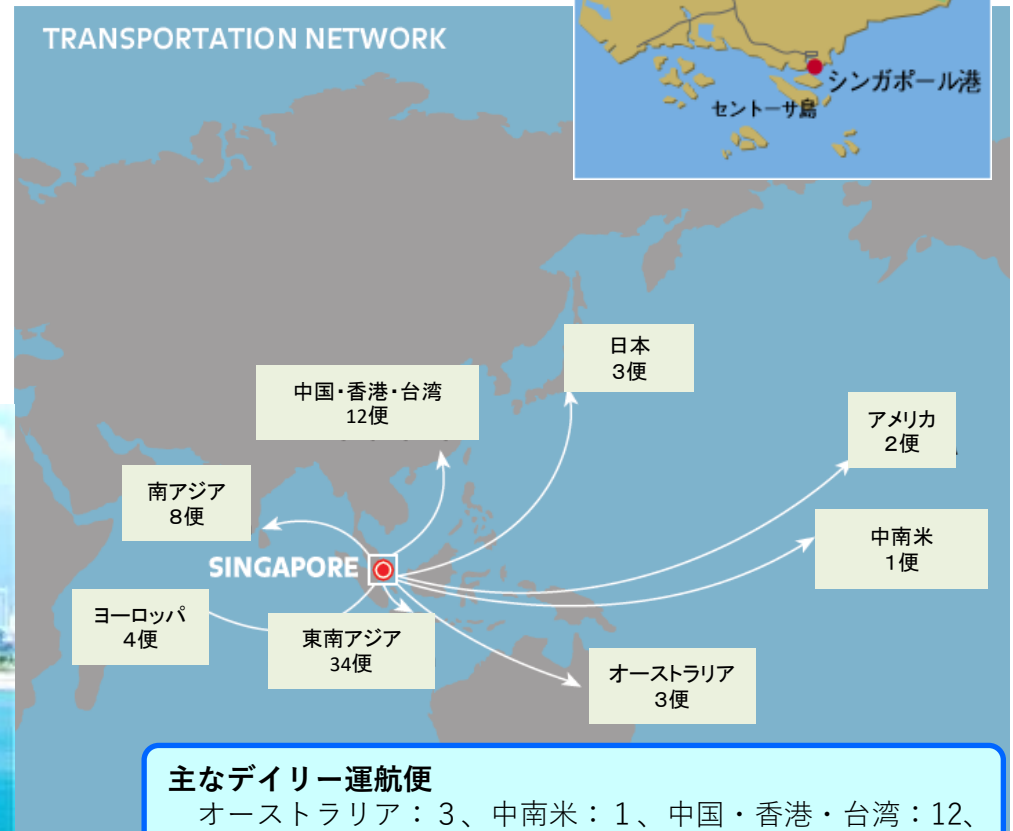
出典：国土交通省「世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング」

# 3. シンガポール港の概要

## ■ シンガポール港

120カ国以上の600の港と結ばれている世界最大級のハブ港

- ①総面積：817ha（東京ドーム約174個分）
- ②岸壁延長：21,033m
- ③最大水深：18m
- ④コンテナバース数：66か所
- ⑤コンテナ用クレーン数：195基
- ⑥貨物取扱能力：4,300万TEU
- ⑦運営：PSAコーポレーション



### 主なデイリー運航便

オーストラリア：3、中南米：1、中国・香港・台湾：12、  
ヨーロッパ：4、日本：3、南アジア：8、  
東南アジア：34、アメリカ：2

出典：PSA及び日本港湾協会ホームページを基に作成



# 3. シンガポール港の概要

世界の港湾都市ランキング (2019) 総合世界1位 (2019年)

- 1位 シンガポール
- 2位 ハンブルク
- 3位 ロッテルダム
- 4位 香港
- 5位 ロンドン
- 6位 上海
- 7位 オスロ
- 8位 東京
- 9位 ドバイ
- 10位 釜山
- 11位 アテネ
- 12位 ニューヨーク
- 13位 コペンハーゲン
- 14位 ヒューストン
- 15位 アントワープ

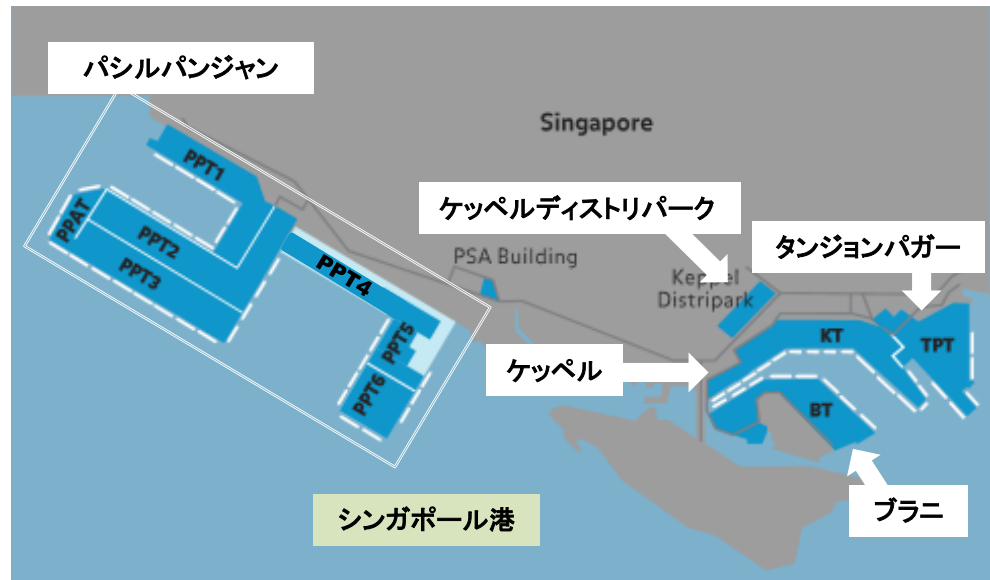
- 積み替え・出荷センター機能 1位
- 港湾物流機能 1位
- 魅力・競争力 1位



出典: THE LEADING MARITIME CAPITALS OF THE WORLD

# 4. 4つの主要ターミナル

## ■ 各ターミナルの位置



## ■ 各ターミナルの概況

ターミナル名	タンジョンパガー	ケッペル	ブラニ	パシルパンジャン
面積	79.5ha	102.5ha	84ha	551ha
埠頭の長さ	2,097m	3,164m	2,325m	13,447m
最大深	14.8m	15.5m	15m	18m
コンテナバース数	7	14	8	37
クレーン数	0	21	26	148

出典：PSA ウェブサイトの情報を基に作成

## 5. 港湾管理組織の沿革



- 1863年 中国人実業家であったタン・キム・チン (Tan Kim Ching) がタンジョンパガードックカンパニー (1913年にシンガポール港湾委員会に移行) を設立し、2隻の蒸気船とともに営業を開始。
- 1964年 シンガポール港湾委員会を前身とする、シンガポール港湾庁 (PSA : The Port of Singapore Authority) が設立。
- 1997年 港湾ターミナル及び施設の運営を担う株式会社PSAコーポレーションとして民営化。  
(前年に海事港湾庁 (MPA : Maritime and Port Authority) へ海事、港湾業務の監督などの機能が移管)
- 2003年 組織再編成により、政府系投資会社のテマセク・ホールディングスが全額出資する、PSAインターナショナルが設立され、株式会社PSAコーポレーションはその子会社となった。

## 6. 港湾整備とサービス

**TradeNet、TradeXchange → Networked Trade Platform (NTP)**  
(政府機関と連動した通関システム+貿易物流業界の情報交換プラットフォーム)

- ・ 通関手続きのワンストップ化

**PORTNET** (海運事業者向けの商取引システム)

- ・ 入港手続きやコンテナターミナルの利用に関する情報を一括管理

**CITOS** (ターミナル操作管理システム)

- ・ コンテナの積み替え作業、トラックの配置等を中央制御室で一括管理

**Flow-Through Gate** (港湾施設入口ゲート通過システム)

- ・ IT技術を駆使したスムーズなセキュリティチェック

**RCOC** (遠隔クレーン操作・制御システム)

- ・ 自動化クレーン操作による生産性向上

## 7. 今後の展望（政策概要）

①タンジョンパガー、ケッペル、ブラニのターミナルの機能をトゥアスへ移転し、2021年にフェーズ1が供用開始（上記3港は2027年に閉鎖）

②パシルパンジャンターミナルの機能を2040年を目途にトゥアス地区へ移転



出典：THE STRAITS TIMES

～ ご清聴ありがとうございました ～

E N D



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore